第 30 回周産期学シンポジウム　演題募集について

テーマ　「長期予後からみた出生前診断症例における周産期管理の再評価」

ME 機器の発達，MFICU/NICU における治療成績の向上は，周産期死亡率の減少のみならず，低出生体重児の「障害なき生存率」の上昇をもたらしてきました。しかしながら，出生前に診断された様々な胎児異常に対して行われてきた周産期管理が，果たして有効であったかどうか明らかにされてはおらず，再評価の時期にきていると思います。

そのような観点から，今回のテーマを，「長期予後からみた出生前診断症例における周産期管理の再評価」に致しました。種々の問題点ならびに解決法を紹介していただき，これらの知見を共有し，周産期医療の更なる向上につなげたいと考えます。

多数の演題の応募を期待しております。

2010 年 8 月

＜キーワード＞

疾患名：一絨毛膜双胎，一児胎児死亡，双胎間輸血症候群，重度胎児発育不全，胎児水腫，cystic hygroma，水頭症，二分脊椎，心疾患，横隔膜ヘルニア，肺嚢胞性疾患，消化管閉塞症，胎便性腹膜炎，腹壁異常，仙尾部奇形腫，腎・泌尿器系疾患，Potter 症候群，骨系統疾患，筋疾患，悪性腫瘍（脳腫瘍ふくむ），染色体異常，代謝性疾患・遺伝性疾患

治療・介入：EXIT，胎児治療，ECMO，分娩時期

予　後：発達予後・発育予後・機能予後，QOL，広汎性発達障害，精神発達遅滞，学習障害

その他：カウセリング，ファミリーケア，在宅管理，管理方法の経年推移（18 トリソミーなど），家庭崩壊（家庭予後）

以上

周産期学シンポジウム運営委員会委員長　齋藤　滋

第30回周産期学シンポジウム
応募要項

＊発表者は、原則として会員に限ります。
＊演題応募を希望される方は、学会ホームページから「応募用紙」「抄録用紙」および［演題応募上の注意」をダウンロードして下さい。
＊演題応募する際は、応募用紙に必要事項を記載の上、抄録本文と共にE-mailの添付文書として学会事務局宛に送信して下さい。
＊抄録本文は、800文字以内とし、MS Word形式で保存してください。
＊演題応募段階で調査・研究が終了していない場合には、最終選考およびシンポジウムでの発表までの調査・研究計画を具体的に提示する必要があります。この詳細は、抄録本文とは別に「今後の研究計画」として800字以内にまとめ、抄録本文および応募用紙とともに事務局宛に送信して下さい。
＊E-mailの件名は、「第30回周産期学シンポジウム応募演題」として下さい。
＊受付後は、1週間以内に事務局よりE-mailにて抄録到着のお知らせをいたします。連絡のない場合には確認をお願いいたします。
＊演題の採否は周産期学シンポジウム運営委員会で討議し決定し、2010年11月30日（火）までに採用候補演題か否かをお知らせいたします。
＊採用候補演題の応募者には、2010年12月17日（金）の最終選考会に参加していただき、5分間の発表と5分間の討議を行っていただきますので、出席の準備をお願いします。
＊最終選考の結果は2010年末までにお知らせします。
＊2011年のシンポジウム開催時に、発表予定者に来ていただき、発表内容についてさらに詳細な検討を行うことがあります。

＊応募締切：~~2010年10月31日（日）12：00必着~~
2010年11月8日（月）12：00必着

＊送 信 先：E-mail： jspnm@interlink.or.jp
日本周産期・新生児医学会事務局
〒162-0845　新宿区市谷本村町2-30　メジカルビュー社内
電話：03-5228-2074　　FAX：03-5228-2104

※「応募用紙」「抄録用紙」は，こちらからダウンロードしてください。
応募用紙：http://www.jspnm.com/topics/data/topics100824.xls
抄録用紙：http://www.jspnm.com/topics/data/topics100824.doc

演題応募上の注意

1. 同一施設からの応募数に制限はありませんが、同一発表者が複数の演題を応募することはできません。
2. 発表者は原則として会員に限ります。
3. 応募用紙に必要事項を入力し、抄録本文と共にE-mailの添付文書として学会事務局宛に送信して下さい。
   ＊E-mailの件名は「第30回周産期学シンポジウム応募演題」として下さい。
   ＊受付後は、1週間以内に事務局よりE-mailにて抄録到着のお知らせをいたします。連絡のない場合には確認をお願いいたします。
4. 応募用紙のファイル名は発表者名-応募用紙とし、拡張子をつけて下さい。
   （例：山田太郎-応募用紙.xls）
5. 抄録本文は800字（プリントA4判1頁）以内で作成し、MS Word形式で保存して下さい。
6. 抄録は原則として、目的、方法、結果、考察の順に記載して下さい。
7. 抄録本文のファイル名は発表者の名前とし、拡張子をつけて下さい。
   （例：山田太郎.doc）
8. 抄録本文中には具体的施設名を記載しないで下さい。
9. 個人情報や生命倫理など、特に倫理的配慮を必要とする研究である場合は、行った具体的配慮について本文中に記載して下さい。
10. 演題応募段階で調査・研究が終了していない場合には、最終選考およびシンポジウムでの発表までの調査・研究計画を具体的に提示する必要があります。この詳細は、抄録本文とは別に「今後の研究計画」として800字（プリントA4判1頁）以内にまとめ、抄録本文および応募用紙とともに事務局宛に送信して下さい。
11. 送信先：jspnm@interlink.or.jp（日本周産期・新生児医学会事務局）
12. 応募用紙への入力の注意は以下の通りです。
    1）青色のセルは入力用です。テキストを入力してください。
    2）黄色のセルは選択用です。選択肢の中から選択して下さい。
    3）演者情報には、発表者（演者 1）を含む演者の氏名と会員番号を入力し、施設番号、会員／非会員および主な診療科を選択して下さい。発表者の施設番号は 1 になります。発表者と同一施設の演者の施設番号は 1 を選択して下さい。非会員の会員番号は 9999999（7 桁）を入力して下さい。演者が10を超える場合は、行を追加して同様に記入して下さい。
    4）発表者の連絡先を入力して下さい。住所は市区・町・番地の欄に分割して入力して下さい。E-mail 確認入力の欄にはコピー&ペーストせずに、アドレスを入力して下さい。赤字で「E-mail アドレスを確認」と表示される場合

は、前の欄と食い違いがありますので、確認して下さい。

5) 発表者と所属施設が異なる演者がいる場合は、施設番号 2 以降に施設名を記入して下さい。施設数が 10 を超える場合は、行を追加して同様に記入して下さい。

6) 演題名を入力して下さい。演題名は改行せず、1 行に入力して下さい。
サブタイトルがある場合は、2 行目に入力して下さい。

7) キーワード 1 および 2 を選択して下さい。

8) チェックリストの各項目を選択して下さい。特別な倫理的配慮が必要ではない演題の場合は、「配慮不要」および「倫理的配慮不要」を選択して下さい。

以上